

地域おこし協力隊活動報告



坂本賢二

2020~2023

自己紹介（プロフィール）

● 坂本 賢二

* 岐阜県高山市出身（42歳）

* 妻と娘2人の4人家族。

* 経歴

車のディーラー



飲食店を志し東京へ。



飲食店を開業（6年）

* 2020年長野へ移住。



9月より地域おこし協力隊松代地区担当として着任。

ミッションは、果樹、野菜の生産、新たな農作物の研究、販路拡大などです。

《志望動機》

●妻が松代出身

●義父が小さな葡萄畑を営んでいたが、廃農を考えていた。

●子育てと仕事(ライフワークバランス)

東京で携わってきた飲食業の経験を生かし、妻の育った松代で農業と飲食店をやりたい！！



《活動状況》

◎【豊栄野菜組合の作業手伝い】

丸茄子と葡萄の生産などの手伝いがメインとなります。

(丸茄子の鉢上げ、マルチ張り、植えつけ、収穫と出荷)



(葡萄の生産管理と高齢農家さんのヘルプ要請)



◎【住民自治協議会への参加】

地域振興とまちづくり部会に所属し、デザインウィークや善光寺御開帳に合わせた真田商店の出店及び街の課題に対する会議に出席させていただいています。

(2020年長野デザインウィーク、 2022年デザインウィークでの真田商店の出店)



(2022年、3ヶ月に及ぶお土産処・真田商店の運営)

善光寺ご開帳、真田信之400年事業の一環



◎【葡萄の生産と販路拡大】

- ・ 葡萄畑の管理、生産、技術習得
- ・ 将来を見越した販路拡大

ありがたいことに、高齢となり生産・管理が難しくなった生産者さんからお話を頂きました。手伝いや、講義を聞くだけでは身に付かない技術と知識を1年間で学ぶ事ができました。

(育てている葡萄の品種)



(シャインマスカット)



(種無し巨峰)



(クイーンルージュ)



(クイーンセブン)

(雹害とハクビシンによる被害の様子)



(害獣対策)



◎ 【ぶどう狩り体験】

圃場近くの保育園児（年長さん）に、ぶどう狩りを体験してもらっています。

コロナでいろいろな行事がなくなり、子供達が楽しめる事をしたいと考え、近くの保育園に提案させていただきました。

昨年で2回目となりましたが、一年を通して葡萄のできる過程を見学してもらいました。



(葡萄の花)

◎【葡萄棚の補修】

葡萄棚の建設・補修をする技術所得に向けて研修をしています。

技術者不足と、退任後の農閑期の収益源なども見通して活動しています。

(基本の平棚)



(Aマストの葡萄棚)



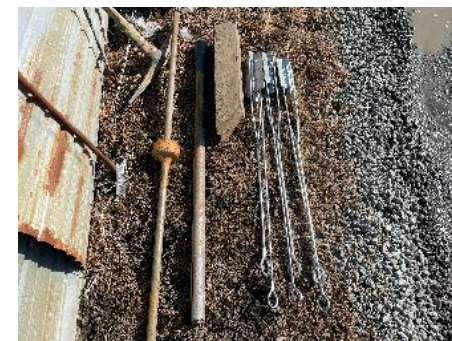
(Cマストの葡萄棚)



(雪で倒壊した棚の修復)



(必要な道具)



● 《今後の活動》

協力隊に着任した時から、帰任したら消えてしまう成果では意味が無い。定住して長い時間をかけて地域を活性化したいと考えていました。

- 1、遊休農地の活用
- 2、地域の資源である空き家の活用
- 3、地域の食材を使った加工・販売

葡萄畑の拡大

(今年から借りる事になっている畑を含めて現状は70アールです)
若い専業農家が少ない松代で、今後続く若い就農者の一つのモデルになりたい。

飲食店経営

単発的な観光イベントよりも、月に1回は行きたいと思える店がある方が持続的な賑わいにつながる。

若い世代が地域の資源を再認識して、いつか地域に戻ってくるようなまちづくり。田舎でも出来る事が沢山あるんだと、子供達が将来の選択の幅が持てるようなモデルになることが今後の活動の目標です。